

ICT企業の人権の取り組み ベンチマークについて

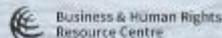
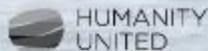


[About Us](#) [Benchmarks](#) [Resources](#) [The Issue](#) [Views](#)

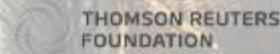
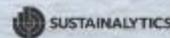
KnowTheChain

KnowTheChain is a resource for companies and investors to understand and address forced labor risks within their global supply chains. Through benchmarking current corporate practices and providing practical resources that enable companies to operate more transparently and responsibly, KnowTheChain drives corporate action while also informing investor decisions. KnowTheChain is committed to helping companies make an impact in their efforts to address forced labor.

[LEARN ABOUT US](#)



Partnering with:



公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本

KnowTheChainとは？

- 企業や投資家のために、サプライチェーンにおける強制労働についての情報を提供。
- セクターを超えたネットワークで活動。

Business & Human Rights Resource Centre

企業の取り組みを調査し、ポータルサイトで発信する非営利団体

Sustainalytics ESG投資調査・評価会社

Verité 労働問題のコンサルサービスを提供する非営利団体

Humanity United 社会課題解決をめざす財団

Thomson Reuters Foundation トムソン・ロイターの財団



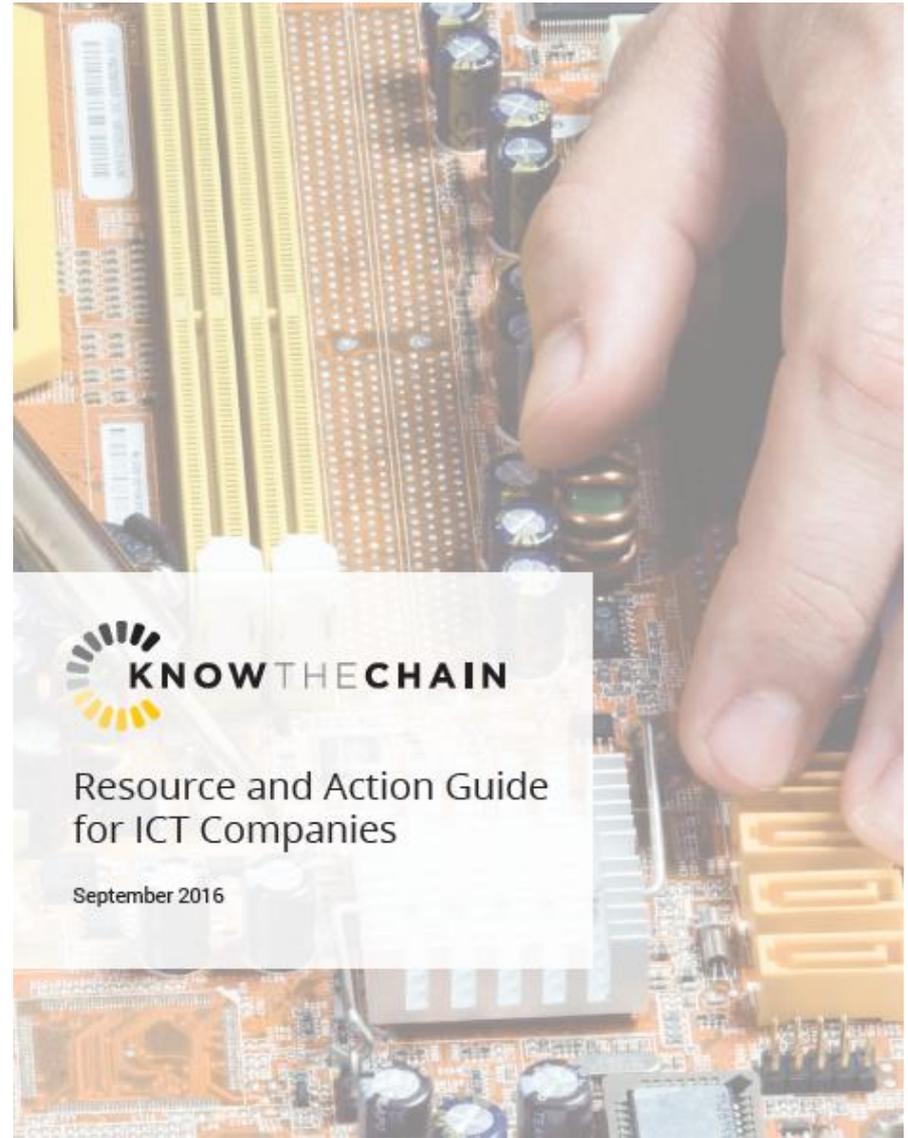
KnowTheChainベンチマークとは？

- サプライチェーンにおける強制労働の問題への意識喚起と企業の継続的な取り組みを促進することを目的としている。
- 強制労働が特に問題となるICT、食料・飲料、衣料・靴セクターにおける企業の方針と実際の取り組みを評価。2016年6月にICTセクターの結果発表。
- 企業の公開情報およびKnowTheChainから企業への質問の回答から評価を行っている。
- 日本企業は、ICTセクターで4社、衣料・靴セクターで1社の名前があがっている。



ICT Benchmark
Findings Report

June 2016



Resource and Action Guide
for ICT Companies

September 2016



Food & Beverage Benchmark Findings Report

How are 20 of the largest companies addressing forced labor in their supply chains?

2016年10月最終改訂



Apparel & Footwear Benchmark Findings Report

How are 20 of the largest companies addressing forced labor in their supply chains?

2016年12月最終改訂

セクターと企業の選択基準は？

- 労働に関する規制が弱かったり、実施されていなかったりする国から原材料の調達を行っていることが多いICT、食料・飲料、衣料・靴セクターを対象としている。
- この3つのセクターは、低価格競争にさらされており、サプライヤーや業務委託先へのプレッシャーにつながりやすい。
- このセクターのサプライチェーンには、強制労働や人身取引の被害にあいやすい移住労働者も多くいる。
- 対象企業は、強制労働のリスクの高い業界の中から時価総額をもとに選ばれている。

評価基準はどのように つくられたのか？

- 評価基準は、Know The Chainのメンバー4組織が強制労働の問題に取り組んできた知見と、企業・投資機関・市民社会といった他組織が公開している情報を基につくられている。
- パイロットプログラムを実施し、市民社会、投資家、企業といった関係者とのコンサルテーションを行い、1年にわたる準備を経て、評価基準を作成した。

対象企業は調査に関わることができるのか？

- ベンチマークの対象企業は、KnowTheChainとエンゲージすることができる。
- 調査においては、KnowTheChainメンバーのSustainalyticsが対象企業に連絡をとり、追加情報を提供する機会をつくっている。
- 対象企業は、Webサイトを更新するか、Business & Human Rights Resource CentreのWebサイトで公開されるKnowTheChainからの質問事項に回答することで追加情報を提供できる。

企業はベンチマークを どのように活用できるか？

- KnowTheChainのベンチマークは、企業にギャップ分析の結果を提供し、特にどの分野に改善が必要かを明らかにするものである。
- ベンチマークによって企業の取り組みの好事例を特定し、それを共有することで、他企業も労働者を守るための基準や取り組みを適用することがねらいである。

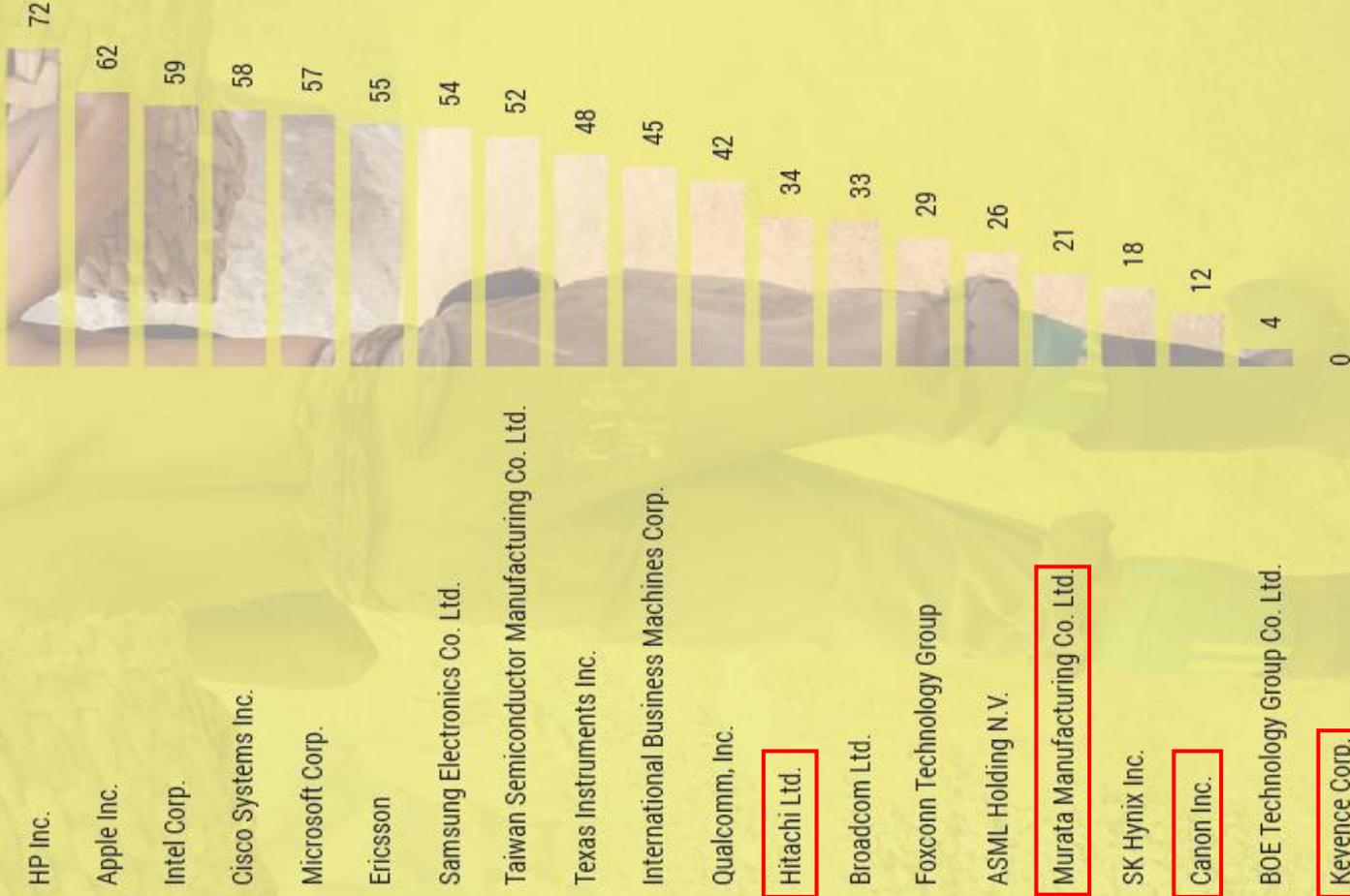
ベンチマークの評価指標

7テーマ、22項目からなる指標で企業を評価。

1. コミットメントとガバナンス
Commitment and Governance
2. トレーサビリティとリスクアセスメント
Traceability and Risk Assessment
3. 購買行動 Purchasing Practices
4. 雇用 Recruitment
5. 労働者の声 Worker Voice
6. 監査 Monitoring
7. 救済 Remedy

ICTセクターのランキング

Figure 1: Overall Company Scores



ICTセクターのベンチマーク結果

Average
Score

39

KEY FINDINGS



Worker Voice



Traceability &
Risk
Assessment



Recruitment

※満点はスコア100

home

Guardian sustainable business

Business and the sustainable development goals

Hitachi and Canon not doing enough to tackle forced labour, says new report

Tech companies are vulnerable to modern slavery in their supply chains. A new benchmarking report says many must do more to address it

Supported by



About this content

Annie Kelly

Thursday 23 June 2016 12.24 BST

